

## 次世代ヘルスケア産業協議会 健康投資ワーキンググループ（第12回）議事要旨

日時：平成29年2月7日（火）17時30分～19時00分

場所：経済産業省本館17階 第3特別会議室

### 出席委員

森座長、今村委員、笠井委員、栗原委員、小松原委員、高崎委員、津下委員、丹羽委員、日野委員、守殿委員、山本委員

### 議題

- ・アクションプラン2016の進捗状況について
- ・健康投資に関する施策の今後の進め方について
- ・健康経営優良法人認定制度について

### 議事概要

- ・企業側としては、長時間労働の改善が喫緊の課題。健康経営は働き方改革と関連性があることを周知することにより、一層普及が進むのではないかと。
- ・メンタルヘルスについても企業の意識が高いため、経営層を動かすにあたっては、その側面で健康経営を説明することも重要。
- ・情報開示が進むことにより、投資家等が健康経営により関心を持たれば、企業側が更に健康経営に取り組む上でのインセンティブになる。情報公開の手引きを見直してはどうか。
- 従業員の健康は、ESG投資のSに位置づけられる。女性の活躍に関しては、有価証券報告書に書くこととなったが、健康経営もそこまで進められないか。各社の統合報告書やCSR報告書を評価している機関に打ち込みに行くのも重要。
- 健康経営優良法人の認定を受けた企業について、取り組みの見える化も重要。この取り組み項目を達成したという発信にもなるし、次への積み残しの課題認識にもなる。
- 企業の情報開示において、検診受診率、保健指導実施率、喫煙・メタボ率だけでも公表して頂きたい。
- ・健康経営優良法人認定制度において、今後、長時間労働は必須項目にして頂きたい。
- ・その他、法令順守に係る、ストレスチェック、保健指導等は必須化にしてはどうか。
- ・健康経営優良法人の申請内容・審査結果を踏まえ、どいうった取り組みが実施しやすいのか等の情報を集積・公開してはどうか。
- ・公共調達において健康経営が評価されることは、健康経営の普及にとって大変な効果となる。是非強力に進めて欲しい。
- ・健康経営の認知度は、大企業と中小企業では相当大きな差がある。中小企業への普及を推進して欲しい。
- ・健康経営に関する認知度調査は、行うこと自体が周知策になるので、是非実施して欲しい。

- 健康経営を支えるサービスについて、サービスをいかにカテゴライズするかも重要。カテゴライズの方法については、健康経営を取り組む企業等に、こういったサービスを活用しているかヒアリングすることが考えられる。
- ・サービスと、企業や保険者をマッチングする仕掛けも重要。